

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発行 昭和50年7月10日 第20号・印刷 アート印刷株式会社



くみあい配合飼料 価格(値下げ)改定

ホクレンは、六月二十三日出荷分より新価格を適用し、トン当り平均五、六十七円の値下がりととなる。

改定理由として

- (1) 主産地アメリカにおける穀物の播種状況、成育状況が順調でありアメリカ国内での需要停滞も伴い、主原料は値下がりにしている。
- (2) 副原料についても配合飼料の国内消費減退により、下押し後現在横ばいの状況である。
- (3) 船運賃は、世界的に景気の回復が遅れている中で、荷動きが停滞し、安値に推移している。

一 情勢

昭和五十年四月六月価格改定後の飼料情勢は、アメリカの七十五年産の穀物生産量の増加期待と世界的な景気停滞による需要減退からソ連の作柄ならびに南半球における生産状況には不安がありながらも、とうもろこし・マイロ等の飼料穀物の市況水準は弱含みに推移している。

一方、国内原料についても、一月以降の配合飼料の需要が大巾に減少したこと、大豆粕・ふすま・魚粉等各原料とも需給は緩和し、安値に推移した。しかし、最近にいたり飼料メーカーの手持原料在庫の消化に伴い新規手当が始まり、価格は逐次強含み傾向となっている。外国為替についても、ややドル高推移を示しており、不安材料は多いが落ちつきを見せている。



乳 質 改 善 推 進 要 項

昭和50年度乳質改善推進方針

本年度からの飲用乳に対する細菌規制

明年度からの全面規制——— に対処して

昨年度は関係機関の指導並びに生産者個々の努力の結果、前年を上廻る合乳合格率八三・四%の成果をおさめた。しかしながら本年度からの飲用乳に対する細菌規制及び明年度からの全面規制を考えると、当農協の実状は根室管内農協中、第六位の成績であり、今後一層の努力が必要である。

本年度は全道並びに根室地方乳質改善協議会の推進方策により、五十一年度全面規制に対応出来るよう農協関係機関、生産者一体となつてこれに取り組み良質乳の生産を図るため、次の事を柱として乳質改善を強力に推進する。

一、乳質改善金制度の設定

規制の対象となる合乳の乳質は基本的には個乳の乳質に左右される事から個乳のより一層の向上を図るため乳質改善金制度を設ける。

(1) 昭和五十年度は工場到着合乳の細菌検査成績に基き農協に対し「合乳格差金」が配分される。

農協はこれを主要財源として農協で実施する個乳検査成績に基づく生産者に対し「個乳格差金」を配分する。合乳格差金については細菌数により段階別単価が設定される。

(2) 個乳の低質乳からは乳質改善の効果を上げるため、格差金を徴収する。徴収金は乳質改善対策金

として積立て改善指導に充てる。

(3) 個乳検査 全受入個所に於いて個乳一等乳について、レサズリン還元試験管法により、毎月一回不定期に細菌検査を行う。

検査成績は生産者に別に定める方法により連絡する。

検査成績記入の方法はレサズリン色調番号により次の通りとする。

細菌数	レサズリン色調番号
300万以内	0
400万以内	1
700万以内	2
1,000万以内	3
無 限 大	4
	5

二、乳質改善の推進体制

乳質の向上を図るため農協役員はもとより酪対協議会、青年部婦人部等の協力を得て乳質改善に取り組む下部組織の育成、並びに生産者意識の啓発を図るとともに関係機関の連絡のもとに、点検改善指導の徹底を図る。

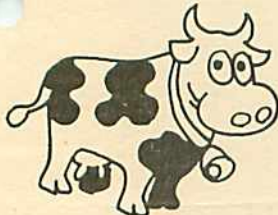
取 方 法

合乳検査成績に基づく「合乳格差金」の個乳検査成績に基づく配分並びに、低乳質乳に対する個乳格差金の徴収は次の通りとする。

備考	方法	徴収の単位	徴収率	徴収方法	検査成績	検査成績
4月実施				合乳検査成績にれ金	0	合乳検査成績にれ金
				格差金の1/3	1	合乳検査成績にれ金
8月1日実施		1kg	1円22		2	合乳検査成績にれ金
		1kg	1円22		3	合乳検査成績にれ金
		1kg	1円22		4	合乳検査成績にれ金
		1kg	1円22		5	合乳検査成績にれ金

右記低乳質格差金の徴収実施については、七月中に生産者に対する啓蒙普及並びに改善点の指導を実施し、八月生産生乳より実施する。

尚、合乳格差金配分については支払われる合乳格差金をレサズリン色調により0・1に對し%、2に對して%の単価比率にて配分する。



酪対情報 根室地区酪対会長に及川氏(別海)を再選

地区酪対総会が六月二日に行われ、事業報告・事業計画も承認され、議案第三号で負担金の賦課が前年と変つた。

第三号 負担金の賦課徴収方法について

生産者牛乳割については四十九年四月、五十年三月出荷乳量に對し、毎月乳代から%当り九銭、農協割については、一五〇万円とし前年度実績乳量割として七月末に徴収したい。

この事も承認され、四月・五月分は乳代から五銭を控除されているが差額金を追納しなければならぬ。六月分乳代からは%当り九銭が控除される。

役員は次のように決まつた。

- 会 長 及 川 利 之 別 海
- 副会長 児 玉 光 彦 中 標 津
- 副会長 小 野 寅 夫 中 春
- 道酪対本部委員
- 及川利之 児玉光彦 村山久郎
- 道畜對本部委員 吉田 昇

- 地区生乳共販運管委員
- 長尾良実 谷口恒一 栗林健二
- 道酪農協会理事
- 及川利之 高木恒一 竹下日吉
- 小野寅夫

- 道酪農協会支部長
- 及川利之



1. 家族の状況

	氏名	続柄
1	鈴木吉三	経営主
2	ひさよ	妻
3	睦子	二女
4	祥幹	長男
5	みわ子	〃妻
6	祥嗣	孫

2. 土地の状況

総所有地	改良草地(更新後7年以内草地)				永年草地(8年以上の草地)			
	採草地	採草放牧地	放牧地	小計	採草地	採草放牧地	放牧地	小計
74.5 ha	18 ha	ha	30 ha	48 ha	17 ha	ha	ha	17 ha

普通畑	山林			原野		施設宅地	貸借地		今後改良予定面積
	植林	山林	原野	小計	左の内放牧利用		貸地	借地	
ha	5.6 ha	3.5 ha	9.1 ha	(3.3) ha	0.4 ha	ha	10 ha	ha	

3. 家畜の状況

乳牛	25ヶ月以上	46
		13~24ヶ月
牛	1~12ヶ月	2
	計	76

4. 施設の状況

施設名	大きさ	施設名	大きさ
住宅	138 m ²	サイロ	99 m ²
牛舎	277 m ²	〃	132 m ²
〃	396 m ²	尿溜	42.7 m ³
サイロ	973 m ³	堆肥場	208 m ²
〃	72 m ³	農機具庫	132 m ²
〃	760 m ²		

乳質改善も
地域ぐるみで盛りあげる

鈴木吉三さん(当幌)

国鉄当幌駅近くの国道沿いで経営をしている。

「いい(善い・良い)」と思う事は、実行に移していく。この事を信条とした生活と経営が、鈴木さんと家族にある。

— 当幌地区乳質向上の実績 —

当幌地区に、バルククーラーが導入されたのは、昭和三十四年その時から地域ぐるみでの乳質保全と集送乳合理化の推進に取り組んでいる。また地域ぐるみでなければ効果はウスイし遅い。

良い機械、高価な機器を設置しても、その後の利用のあり方と維持管理に努めなければ、価値は出てこないし、現在の農業の立場から考えて、自分一人ではなく、地域ぐるみで協同の気持ちと力を合わせてやっていかなければならないと思う。

当幌地区の乳質の良成績である事は、生産者の気持ちの現われであり、組織としては、今年から乳質改善特別委員会を設け、活動に力を入れている。

— 地力の更新 —

化学肥料偏重による地力低下や乳牛への影響を思う時に、これまでの肥料の使い方を変えてみる必

要がある。生産者も気付いていてもなかなか実行されない。だから今年、ビートが万能だとは思わないが、一つの手段として、この地区で約十一ヘクタールの新規作付をみた。

草地更新の経済性と方法の手掛りをつかめれば良いと思うが、どのような事になるか……と語ってくれました。

— 後継者 祥幹さん —

この人と仲間が活発な活動をしている。

経営上での数字の比較・農機具の効率的利用と管理、牧草施肥と品種の選択・土壌調査・乳牛改良と、テーマを定めて取り組んでいる。

農業経営をしていけば、誰もがやっている事ではあるが、より積極的な活動は注目されている。

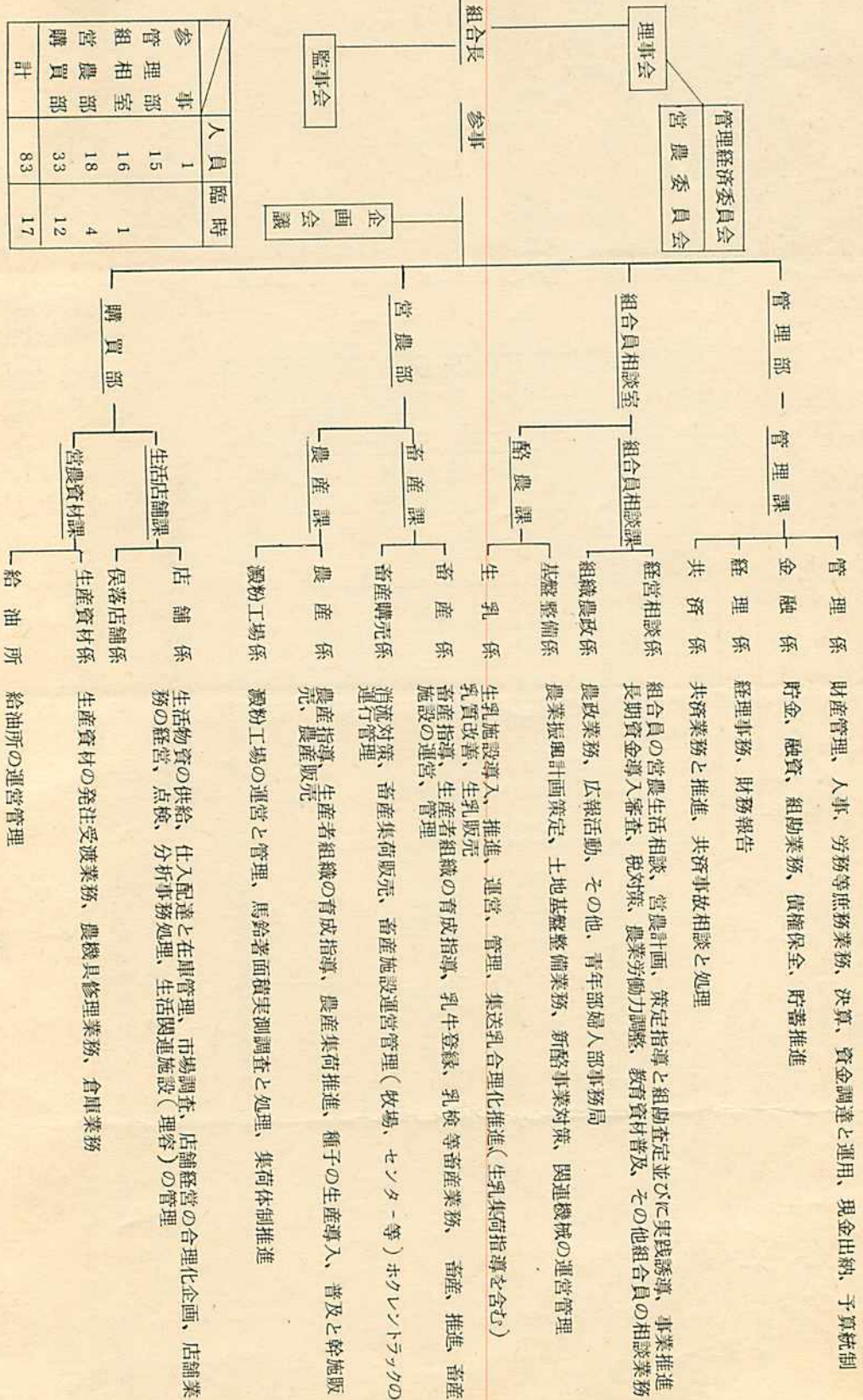
奥さんのみわ子さんは、農業経験がなかったが、祥幹さんと三年前に結婚して、今では作業分担も定まり、経営者に労働換算一人と認められている。



機構図

(昭和50年7月10日)

中標津農業協同組合

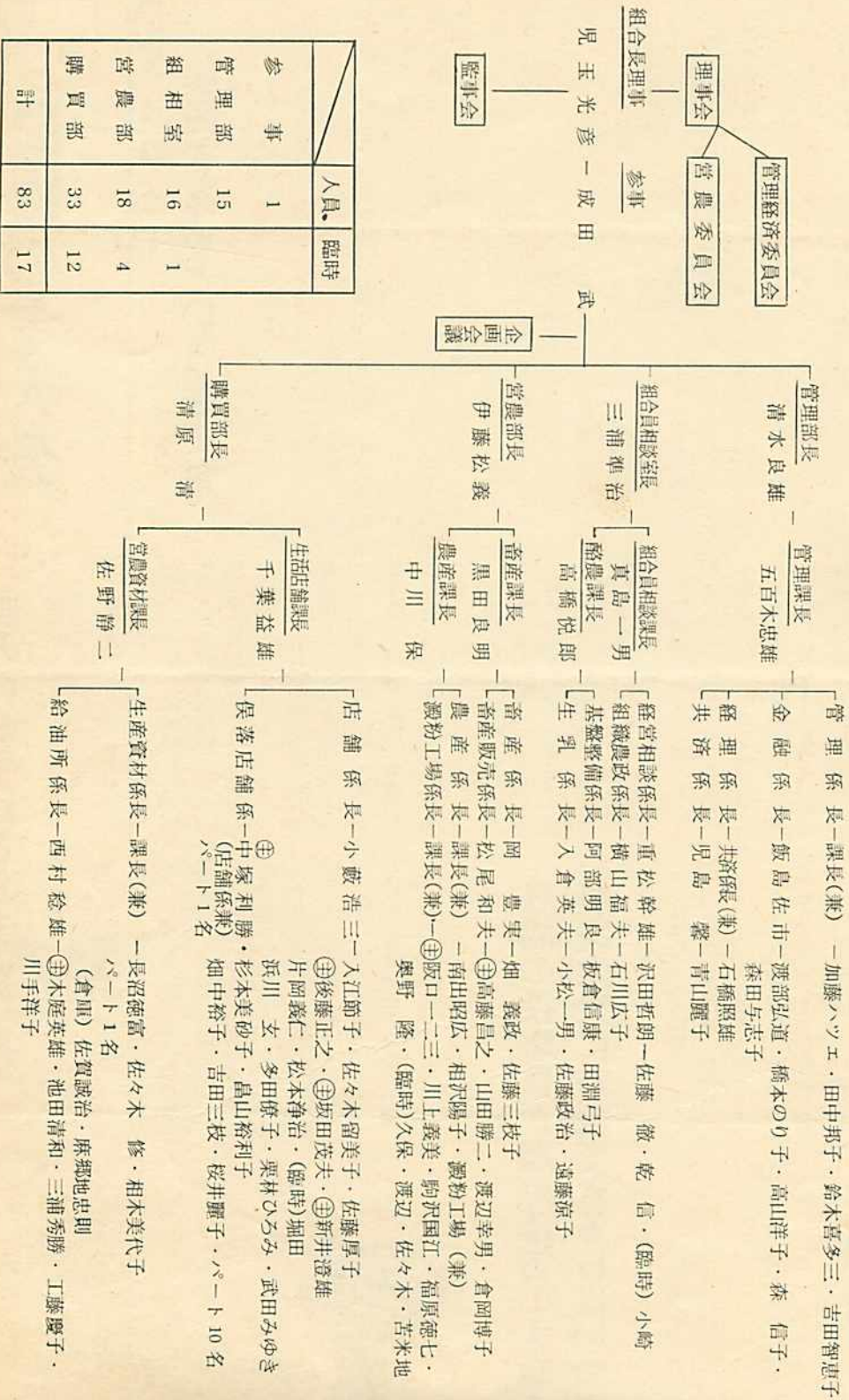


参事	人員	臨時
理事	1	
管理	15	
部	16	1
室	18	4
部	33	12
購買		
計	83	17

機構図と人事配置

(昭和50年7月10日)

中標津農業協同組合



組合員の
ための
農協論

農協の主人公

農協の主人公は

農民であるという建て前

農協の主人公は農民であるとい
ういい方は、農協指導者の常套語
である。それらはちやうど、日本
の国の主権者は国民である、とい
うのとよく似ている。そうではな
いと否定することもできないが、
その通りだと肯定することもでき
にくい。建て前はそうなっている
が、現実はそのようになっていないから
である。

農協の主人公は農民であるとい
うことの根拠は、直接的には日本
の現行の農協法にある。その農協
法によると、農協は十五人以上の
農民が発起人になって設立したも
ので、正組合員は農民でなければ
ならず、その農民にも厳しい規定
がある。またその役員も四分の三
以上は、組合員の中から彼らが選
出せねばならない。どうみても、
この法律によっている限り、農協
の主人公は農民である。といわれ
ばならない。

国の行政手段としての農協

だが実際にそうなっているだろ
うかと反問すると、その通りだと
肯定する組合員は少なからう。大
抵の組合員は、自分たちが作った
ものとは思っていない。これもち
やうど、国や村は自分たちが作っ
たものだと考えていないのと似て
いる。国や村は自分たちが生れる
前からある既存者で、誰もそこか
ら抜け出すことはできないもので
ある。同じように今日の日本の農
協は前からある既存者で、農家は
誰も、そこから抜け出すことはで
きないものなのである。国際協
同組合同盟（ICA）の原則によ
ると、協同組合というものは加入
も脱退も自由なものだということ
になっっている。だが現実の日本の
農協に関する限り、この原則も形
骸にすぎない。大部分の日本の農
家にとっては、農協は村と大差な
い、宿命的な既存者になっっている。

日本の農協は何故このように、
町村と大差ないほど強い既存者と
なっているのだろうか。根本的
な原因は、日本の農協はもともと
国がその農林行政の手段として、
強力な指導監督のもとに作らせた
ものであったことである。国が
伝統的な多数の零細農家の経済を
国民経済の発展に適應させる手段
として採用したのが、この農協制
度であった。明治時代の産業組合
もそうであったが、第二次大戦後
の農協も同じことであった。

敗戦後の占領下で、戦時農業団
体たる農業会は解散させられたが
食料の供出その他、農業経済を国
の計画によって動かすことの必要
性は、いよいよ大きかった。農業
会解散のあとは、早急にそれに代
る行政組織を設ける必要があつた。
その食料の供出その他、農業経済
を計画的に動員する組織として採
用されたのが、幸か不幸かこの農
協制度であつた。時あたかも森羅
万象が民主化の時代。本来西欧で
は文字通り民主的に発達した農協
制度を、国連軍占領下の農村経済
行政の手段として利用したわけだ
らう。農協法施行後またたく間

に、総合農協だけでも一万余千が
津々浦々にでき上がった。

一般の農民が農地解放で血眼に
なっている間に作り上げた農協で
あるから、それが民主的、健全に
育つはずはなく、当初から強力な
指導監督が必要であつた。農林省
にも各都道府県にもそれぞれ数十
名に及ぶ職員を置いて、農協の指
導監督に当たつてきた。この官庁
の指導監督機構はその後若干縮少
されたが、今日もそれが続いて
いることには変りない。昭和三十
九年には農協中央会の制度を設

けて、指導監督の体系を幾分民主
化はしている。
日本の農協は、建て前としては
ICAの原則によつた、民主的な
農協であるが、実質的にはこのよ
うに、国の農林行政の手段たる性
格が強く残っている。

農協の役職員が農協運営の大きを 農民大衆に奉還できる日はいつか

ではなからうか。

日本の農民たちは、今日ではも
う、農協の主人公は農民であるとい
うような世迷い言―それはデン
マークなどの西欧では真実であつ
ても―に迷わされはしない。農協
中央会をはじめとする農協の指導
者たちは、このような世迷い言を
繰り返すことをやめて、どうして
その実をあらしめるか、農協の運
営を農民大衆の手に奉還させる手
続きについて、工夫をこらすべき



(鯉淵学園名譽学園長)
鞍田 純



農協婦人部

第二十二回通常総会開く

六月十八日農協で

六月十八日 第二十二回中標津農協婦人部通常総会が無事終了した。

議事進行は松田八重さん、杉本桂子さんの議長で進められ、議案に基づき色々な意見がだされた。その中でも役員改選については沢山の意見がだされた中で、例年やっているような各支部の部長選の間で決めるのではなく、全体の



表彰をうける依橋婦人部代表



講案に真剣な婦人部員

会計 来 柄 多美子 (北進)
監事 渡 辺 シマ (豊岡)
監事 松 田 八重 (西当幌)

【主な活動計画】

- 一、組織強化と活動の充実
- 末組織婦人部の結成と加入促進
- 専門部会の再編成と自主的活動を進める。
- 研修活動。
- 二、生活と農業を守る活動の推進
- A、生活活動
- 家計簿記帳の推進と分折により生活改善と生活設計樹立を推進する。
- 新生活運動の啓蒙と推進。
- つけものコシクルの開催。
- B、営農活動
- 乳質改善の研修と実践
- 乳牛管理の学習
- 花だんコンクールへの参加。

C、文化運動活動。

- 作品展・ボリーリング運動会開催
- 研修旅行。
- 福祉活動の進め。
- 三、健康管理の推進
- 年一回以上の検診の徹底(農山漁村健康管理センターの利用)
- 農民体操の励行。
- 四、協同意識の高揚
- 農業協同組合思想と仕組みを学習し、農協事業への積極的参加を図る。

農協青年海外研修に 遠藤照一君参加

次代の農業と農協運動の担い手となる農協青年部員を海外に派遣し、農業協同組合運動の進展と北海道農業の発展に寄与するため、ヨーロッパ先進諸国の協同組合と農業事情を視察することを目的に道中央会・道農協青年部協議会が主催して行う。

期間は八月二十三日から十五日間で、訪問国は五ヶ国である。

遠藤君は保落の忠義さんの長男で、農協青年部役員、保落支部長4日等で活動を積極的に進めている。

根室管内からは三名の参加予定であるが、昨年は別海と根釧P.Dの農協青年部員が参加しており、今年も第二回目である。

花だんづくり奉仕

佐武(東)婦人部

六月二十七日に農協事務所前の花だんと、中標津町民の森の花だん(三十平方メートル)に花

苗と植つけの奉仕をした。花だん作りと花いっぱい運動では、全道表彰を受けた実績をもつ婦人部だけに、苗作りも上手である。白田部長・工藤・児玉・新谷・立川・寺町生改善及員の皆さん大変ごころうさまでした。

7月・8月・9月

天気予報

札幌管区气象台

概況 七月下旬から八月半ばにかけては夏らしい日が多くなりますが、天気は不安定で、八月の後半には曇雨天の日が多くなるでしょう。また、七・八月は前線の影響で局地的な大雨がけ込まれます。

七月

はじめのうちは、まだ晴れる日がありますが、中旬ごろにはオホーツク海高気圧が発達して道東方

面を中心に雲が多く、一時強い低温がけ込まれます。中旬後半から下旬はじめにかけては前線の影響をうけやすく、南部では局地的大雨の恐れもあります。しかし、下旬後半には夏らしい暑い日が多いでしょう。平均気温は平年並み、降水量は並みないしやや少ない。

八月

はじめ、一時前線が南下して西

部を中心に局地的大雨の恐れがあります。その後は夏らしい日が現われますが、夏型気圧配置は安定せず、再び前線や低気圧の影響をうけやすくなる見込みです。後半の天気は変動が大きく一時的な低温や大雨の降る恐れがあります。平均気温は並みないしやや低く、降水量は並みないしやが多い。

九月

上部は、前線の影響をうけやす

く雲が多いでしょう。また、気温も低めに経過する見込みです。中旬以降は移動性高気圧におおわれ晴天の日が多くなりますが、一時寒気が入り冷え込む日がある見込みです。

平均気温は、並みないしやや低く、降水量は北部でやや少ないが南部は並み。

自給飼料の確保と

家畜消流を思う

菅農委員長 横田 国雄

今年も放牧期に入り、私達酪農家も最寄りの牧場に入牧を終り、ホット一息入れる間もなく、サイレージ調整もあちこちに見られるようになりました。

今年の中標津農協管内の各牧場の入牧頭数をみると二、七七〇頭で、前年対比一一・五%増の約四〇〇頭増となります。

そこで今年の一筆草の伸び具合をみる時、過般普及所の協力で、坪刈調査をした結果、前年対比二〇・三〇%の減となり、二十四日より再度坪刈調査の実施中です。その結果をみなければ何とも言えませんが、各農家の放牧地の収養力、またサイレージ、乾草の収量見通し等を今から考え、その対

策を充分考慮して、追肥・早刈りをやり、二番草に期待をかける以外に方法はないと思います。その上に立つて家畜の保有頭数を見極め、越冬飼料確保に万全を期してもらいたいと思います。

また売却希望牛は、今から農協畜産課と連絡をとりあい、年内に販売予定の妊娠牛は登録書と、体高・価格等売却に必要な事項、また肉系牛、育成牛も同様に実数をつかみ、畜産課と相談し連携をとってれば、消流の円滑化となり購売者の滞り日数、経費の節約となり、家畜消流の拡大も計れると思います。

家畜消流については、生産から販売まで、良策を見出すよう努め

秋の下牧期に向つて体制をたてたいと思います。例年秋の下牧期に販売牛が集中し、農協はこの対応に苦慮していますが、前記した事項等を念頭に入れて、自分の生産物は自分で価値を付けて自信をもつて売っていく、生産者の姿勢が常に必要に思われます。

最近の購売者の中には、妊娠牛の腹の種牡牛等も考慮して買っていくので、販売牛の種付けも研究して人工授精もし、有利に売っていかなくてはならないと思います。

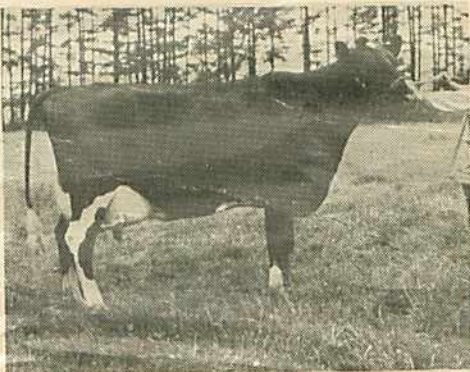
以上、思いつくままに記しましたが、生産者は売る立場、農協はそれを受けて、有利販売にもつていく姿勢が必要であり、内地府県の市場調査をし、農協で充分協議を行い、今から秋に向かつての消流対策に万全を期したいと思っておりますのでよろしく願います。

農協管内で初めての八十五点

―乳牛体格審査結果から―

五十年一度一回目の乳牛体格審査 行なわれ、ホル協より、根本審査が六月二十七日農協管内四ヶ所で 員・佐々木技師の二名が審査に当たり、受検頭数五十九頭と今までの最高受検頭数となりました。

ステイン・クレスト・サイテーション・ロック・カーレン号



た。

審査結果は次の通りでした。七十七・五、七十九・五、八十五・〇点迄が二十頭と平均得点七十九・二点で、乳牛資質は年々向上してきました。八十五点で最高得点を得た乳牛は、豊岡の岡部幸次郎さん所有のステイン・クレスト・サイテーション・ロック・カーレン号、四十三年一月二十三日生れの牛でした。

共済組合

キョウサイクミアイ

マグネシウムの不足

「草づくりはこれでいいのかわ」
「産前産後の起立不能症も」

「土壌ならびに飼料中の微量要素の欠乏について」の講習会が、去る六月十三日、広島大学の吉田繁助教を講師に招き、中標津町農共済で開かれた。

これは、中標津町農業共済組合主催で開かれたもので、当日は根釧管内の獣医師ら百十余名が参加、内容が現状の問題点についているだけに質疑にも熱が入り盛会であった。



共済組合で行なわれた講習会

大きな波紋を投げかけるものとなった。
根釧地区の酪農について見た場合、①大型で多頭飼育②草地酪農といえる。このことから草づくりの場合作業効率を上げるために化学肥料が使われる。ここで、土壌中にマグネシウム

吉田助教は「マグネシウムの消長と骨粗鬆症の発生と対策について」の研究を進めていることで知られているが、根釧地方は、特に乳牛の産前産後起立不能症・グラストニー・ケトン症・脱臼・乳熱など、骨粗鬆症の原因による疾病が多発している現状にある。

そこで同助教は去る二月根釧地方の乳牛をランダムに選んでデータを取り、広島大学に持ち帰って、今回の講習会となったわけだ、その内容は現場の技術者達に



広島大学 吉田繁助教

ムが不足してくる。根釧の牧草地で豆科のものは、播種後三ヶ年で消えてしまうとされているが、これは土壌中のマグネシウム不足のなにもでもないと同助教はいう。

ここから得られる粗飼料は当然のことながら、そういった微量要素が欠乏してくるわけで、骨粗鬆症の発生も多くみられることになるといふ。

中標津町農共済の場合、産前産後の起立不能症だけで、昨年度の診療件数中、五・八%（およそ八〇〇頭）をしめている。

その他グラストニー・ケトン症など骨粗鬆症によるものを集めれば、かなりの%になるはずであり、その対策について、当日集まった現場の技術者達と、講師との間に活発な質疑が行なわれ、講習会は大盛会であった。



昭和50年度、6月加入状況

	加頭数	入数	共価	済額	共金	済額	1頭平均 共済価額	1頭平均 共済金額
	頭	頭	千円	千円	千円	千円	円	円
乳牛	11,297		3,360,320		1,332,907		297,450	117,987
肉用牛		16		3,740		1,122	233,750	70,125
一般馬		41		10,270		4,480	250,487	109,268
計	11,354		3,374,330		1,338,509		297,190	117,888

昭和50年度、加入奨励金

	対戸数	対象数	対象数	奨励金	50頭以上の多頭加入奨励金	奨励金合計
	戸	頭	頭	円	円	円
49頭未満飼育者	274	7,902		16,664,500		16,664,500
50頭以上飼育者	57	3,395		7,213,350	3,486,926	10,700,276
計	331	11,297		23,877,850	3,486,926	27,364,776

家畜共済の引受まとまる

1頭平均 共済金額 117,888円に

台となり、昨年の上万五千円台を上まわる成績となった。

六月で一勢に切替えられる家畜共済の引受けは、組合員の皆さんのご理解とご協力のもとに好成績のうちにこのほどまとまりました。

また加入頭数は、牛馬合わせて一万一千三百五十四頭で、別表に示した通りです。
一方加入奨励金の方をみると、五十頭以上飼養者に対して支払われる多頭加入奨励金が三百四十八万円余、また今年からもうけられた包括共済の充実処置として支払われる奨励金が二千三百八十七万円余で、合計二千七百万円余が奨励金として支払われることとなります。

この奨励金の支払方法は、掛金徴収の翌月、すなわち、七月・十月・一月・四月の四回にわけて、組日から支払うこととなります。

6月乳質検査成績表

中標津農業協同組合

欄	組合員名			欄	組合員名			欄	組合員名			欄	組合員名		
	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬
当幌地区															
バ	飯島光五郎	1	0	1	バ	高藤祐蔵	2	1	0	バ	丸田良夫	1	1	0	
バ	飯島清一	1	0	0	バ	連田弘	1	1	1	コ	小塩正春	1	1	2	
バ	奥田勝佳	1	1	1	バ	永谷雄幸	2	1	1	バ	鈴木重蔵	1	0	0	
バ	奥田岩男	1	0	1	バ	長繩幸弘	2	1	1	コ	高橋一男	2	1	2	
バ	中山安寿	1	0	0	コ	松田五郎吉	1	1	1	バ	高平幸夫	1	0	0	
バ	山川健三	1	1	1	バ	麻郷地忠勝	2	1	2	コ	中本要次郎	1	1	1	
バ	阿部俊勝	1	0	0	バ	小針晴信	1	1	0	コ	中半沢かね	1	2	1	
バ	鈴木吉三	1	0	0	コ	佐藤吉次	2	2	2	コ	国見正雪	2	2	2	
バ	西垣信男	1	1	1	バ	花川秀一	1	1	1	コ	国見実	1	1	1	
バ	小原治	1	1	0	バ	古沢亀	1	1	1	コ	斎藤哲雄	1	3	1	
バ	吉田繁行	1	0	1	コ	花川稔	2	2	2	コ	斎藤栄七	2	2	2	
バ	竹村満夫	1	0	0	バ	今井秀和	1	1	1	コ	伊藤七郎	1	2	1	
バ	高橋常次	1	0	0	バ	東原正広	1	0	0	バ	千葉清一	1	0	1	
バ	筒井留雪	1	0	1	バ	岡部実	1	2	1	バ	村井直行	1	0	0	
バ	筒井正守	1	0	1	バ	渡辺善行	0	0	1	バ	山崎正喜	1	0	0	
バ	室井太吉	1	0	0	コ	田島育三	-	-	-	バ	松本嘉吉	1	0	1	
バ	安田康正	1	0	1	コ	竹村昇	1	2	1	バ	後藤田信夫	2	2	1	
バ	山田一男	1	0	1	バ	松隈健二	1	0	1	バ	斎須安雄	1	0	0	
バ	松田昌介	1	0	1	コ	松隈薫	-	-	-	コ	永島重男	1	2	2	
バ	舟田正明	1	0	0	バ	古瀬イセ	1	0	1	コ	山田良太郎	1	1	1	
バ	菊地良	1	0	1	バ	藤本久雄	1	2	1	コ	房川喜延	2	2	2	
バ	田沢栄一郎	-	-	-	バ	小川清	1	3	1	コ	三輪一郎	2	3	2	
バ	遠田要三	1	0	0	バ	佐藤道嘉	0	0	0	コ	井上亮夫	1	2	2	
バ	西山高蔵	2	2	1	バ	佐藤末美	2	1	1	コ	笠井剛	1	2	2	
バ	長正路正義	1	0	0	バ	佐藤藤永	0	0	0	バ	赤堀岩男	1	0	0	
バ	大野正己	1	0	1	バ	佐藤雄東	1	0	2	バ	鈴木敏夫	1	2	1	
バ	吉成左門	1	0	1	バ	望月幸男	2	0	1	俵橋地区					
バ	福村守	1	0	1	コ	白築政博	1	0	1	コ	大山仁三郎	1	2	1	
バ	遠藤末吉	1	0	0	バ	武田勇	2	2	1	バ	名越成夫	1	0	2	
バ	笠原金吾	1	0	1	バ	高橋敏夫	1	1	1	コ	真島正義	1	2	2	
中標津地区															
バ	緩坂欣一	1	2	1	バ	熊倉彦吉	1	1	0	コ	佐藤清	1	1	2	
バ	緩坂恭民	1	0	1	バ	小林茂雄	1	0	1	コ	大山道夫	2	2	2	
バ	吉川晴久	1	0	0	バ	阿部正六	1	0	1	バ	乾守夫	1	0	1	
バ	滝場光明	1	0	0	バ	佐藤三男	1	0	0	バ	乾勝美	1	0	1	
バ	久保慶一郎	1	1	0	バ	長淵貞義	1	0	1	バ	伊東武	1	1	0	
バ	久我良夫	1	1	1	開陽地区					バ	大山富雄	3	1	1	
バ	正城純一	1	1	0	コ	土井上昭男	2	2	2	バ	山下孝二	1	1	4	
バ	荒昭一	1	1	0	コ	亀田英二	-	-	-	バ	北川榮治	1	0	1	
バ	桜井誠造	1	1	1	コ	向館金吾	1	1	0	バ	水本勘蔵	1	1	0	
コ	佐々木繁雄	2	1	1	コ	山田輝男	1	2	0	バ	水本一三	1	1	1	
バ	佐藤晴信	1	0	0	コ	船越政雄	1	0	1	バ	山本正八	1	1	1	
コ	奥村武雄	2	2	2	コ	浅野トミ子	2	1	0	バ	榎田英雄	2	1	0	
コ	阿部忠次郎	1	1	1	バ	吾妻寅男	1	0	0	コ	穴吹貞明	2	2	2	
コ	三森章司	1	0	0	コ	木村武雄	-	-	-	バ	佐藤正男	1	0	1	
コ	川手輝雄	1	1	1	コ	鈴木嵩	2	2	2	バ	佐々木文作	1	1	1	
コ	下山恵市	2	2	1	コ	桜井精治	1	1	2	バ	栗栖義輝	-	-	-	
バ	石崎多門	2	0	1	コ	横田孝博	2	2	2	バ	野口忍	2	0	1	
バ	林仁一郎	1	1	0	コ	高橋寅之助	1	2	2	バ	佐藤千秋	-	-	-	
					バ	中本栄太郎	1	0	1	バ	太田市三	2	2	2	
										バ	岡次郎	1	1	1	
										コ	金子安有	1	1	0	
										バ	高野勇	1	1	1	
										バ	中林勇	1	1	1	
										コ	工藤隆弘	1	0	0	
										バ	郷原徳	-	-	-	
										コ	赤波江雪右門	1	1	2	
										バ	沢口正志	1	1	0	
										コ	沢渡正義	-	-	-	
										コ	桜井義雄	-	-	-	
										コ	目黒茂	1	1	1	
										バ	大西秀良	1	0	0	
										バ	大西英明	1	1	1	
										バ	福島昭憲	1	0	0	
										コ	下川原秀子	1	3	1	
										コ	三輪貞夫	2	1	1	
										バ	西山一義	1	0	0	
										バ	佐々木武雄	1	1	2	
										バ	日下一芳	1	1	0	
										コ	新保良明	-	-	-	
										コ	石田春夫	3	0	1	
										バ	加茂正毅	3	1	1	
										バ	佐々木政行	1	1	1	
										コ	三友盛行	1	2	2	
										バ	高島貞作	1	0	1	
										コ	福島信一	2	0	1	
										コ	古田起雄	2	1	1	
										バ	本村萌	1	0	1	
										バ	中村敏夫	1	0	1	
										コ	真野勇	1	0	2	
										コ	多田俊夫	1	2	2	
										バ	小岩正一	1	1	0	
										バ	伏見哲	1	0	1	
										バ	中川一平	2	0	1	
										コ	福島広光	-	-	-	
										武佐地区					
										コ	丹羽孝	1	2	1	
										コ	丹羽正明	1	1	1	
										コ	亀井泉	1	1	0	
										コ	長野福重	-	-	-	
										コ	中司哲弥	1	1	0	
										コ	上原徳保	1	1	0	
										コ	工藤政義	1	0	1	
										コ	舟橋清高	1	2	1	
										コ	酒井源四郎	1	2	1	
										コ	目黒雅隆	1	3	2	
										コ	千葉弘	2	2	2	
										コ	工藤剛	1	2	2	
										コ	児島喜一	1	2	0	
										コ	児玉光彦	2	2	1	
										コ	坂口亀一	1	2	1	

『組合だより』

通信員を委嘱



を委嘱しました。

組合だよりが発行されてから、二十号になりました。これからの組合だよりの内容をもっと充実し組合員と組合を結ぶ「パイプ」として、組合だけの広報紙でなく、組合員の参加をもっと多くすることを目的に、組合員の身近かなニュース等、また農協への要望も掲載したく、次のみなさんに通信員

連田直吉(協和) 乾守夫(俵中)
 中司哲雄(武佐) 高平幸夫(開陽)
 三島木友治(俵落) 安江八五郎
 (第二俵落) 山田一男(当幌)
 田中マツノ(北光) 浜谷嗣人(共済組合)



これは ナァーニ

これは、ある物体の一部分を写したものです。
 毎号この欄に掲載しますので、わかったら次の要領によって答えをだして下さい。

対象 小・中学生

宛先 中標津町東七条南二丁目
 中標津農協 組織農政係

郵便番号 〇八六一一

(1) 答え

(2) 氏名 年令

(3) 住所

×切日は毎月二十五日(消印)とします。(今回に限り八月五日×切)

★正解者十名に粗品進呈。正解者多数の時は、抽選で決めます。

今年の五十音別 電話帳は十月に 発行します

釧路・根室地方五十音別電話帳は、今まで一年に一回(毎年五月)発行して、加入者のみなさまにお届けしていましたが、紙資源節約のりから、今年は十月に発行することになりました。

このため、加入者のみなさまへは、十月中旬からお届けいたします。

なお、五十音別・職業別電話帳の掲載名変更の締切日も近づきました。現在ご使用の電話帳にあなただのお名前・屋号がご希望どおり掲載されているか、いま一度、お確かめください。

掲載名の変更・追加・あるいは誤りのある方は、七月十日までに中標津二二〇〇番加入係か、お近くの郵便局(交換取扱局)へお申しつけください。

また、昨年三月以降の新設・掲載及び名義変更のものについては、現在の電話帳に掲載されておりませんが、次回の発行からは掲載されます。

電話番号を能率よくお調べいただくためには、「一にメモ帳・二に電話帳・三で初めて一〇四番」をご利用いただくようお願いいたします。「メモ帳」及び昨年四月から今年二月までの新設の電話番号については「でんでんなかしべつ号外」が電報電話局の窓口にありますので、あなたのガイド役として利用してください。

(中標津電報電話局)

暮しのアイデア



魚の新鮮度の見分け方

	うろこ	眼 球	え ら	魚 体	臭 気	肉 質
新 鮮 魚	光沢があり固くうろこは体に密着し、粘液でおおわれていない	突出し、マブタが緊張し、角膜は透明である	鮮紅色で鮮度臭く(なまぐささ)があり、えらのひだが固く閉ざされている	掌の上に水平に魚体をのせると屈曲することがない	新鮮臭 (魚くささ) (生くささ)	硬く、弾力性があり、骨に密着している
鮮 度 の 悪 い 魚	光沢がとぼしく、くらはげやすいく、やや粘性で汚れない	陥没し、マブタは赤色で、角膜はにごっている。眼球は破壊し、脱落することもある	えらのひだが開き易く、えらの色は退青色・灰赤色の液でおおわれている	骨ととくに尾の端は容易に屈曲する。腸部はふくらみ、指でおすとあとが残る。腸部が膨張する	腐敗臭 (不快なにおい)	柔軟で骨からはがれやすい。温潤で柔軟